

野口進路指導部主事に

「進路」

のこことを
聞いてみました



高校での3年間は、子どもたちの将来にとって重要な期間になります。特に進路については、生徒も保護者も心配ごとがたくさんあると思います。今回は、佐藤進路支援委員長と宮本文化広報委員長が、進路指導主事の野口先生に保護者が抱えている心配事をいくつか集めて聞いてみました。

問 まず初めに、今年のセンター試験での天高生の受験状況などを教えてください。

答 3学年の全生徒227人のうち、190人が受験し、うち全科目を受験した生徒は186人。これは素晴らしいことで、3教科しか課さない大学もあるなか、可能性を広げるため生徒たちがあきらめず粘りとおした証明です。問題の難易度は、文系がやや易化、理系はやや難化していました。

問 次に、就職する生徒は今年何人いますか。

答 公務員を6人受験し、全員合格しています。また、民間企業では、日本郵政に1人合格しています。

問 大学進学に向けてセンター試験・2次試験と厳しい受験を乗り越えなければいけません。先輩たちはどうやって乗り越えたのでしょうか。

答 受験を乗り越えるのは、みんなつらいと思います。高校総体・総文祭が終わるのが6月初旬（一部の部活はさらに2か月後）。現行の入試制度はセンター試験が大きなハードルになっています。

夏休み以降、天高生ほぼ全員が、限られた時間で、受験基礎力（教科書内容・入試学力（大学過去問）・解答力を伸ばすために大きなエネルギーを注ぎ込んでいきます。お互い励ましあい、辛い・苦しいとき、諦めかけたときに周りの頑張りに支えられて、受験生として人として成長しています。

ここで重要になるのは、1・2学年での取組



進路指導主事の野口先生と佐藤進路支援委員長（左）
（写真撮影宮本文化広報委員長）

み。これが十分でなかった場合、入試に必要な学習内容の定着にはさらに大きな負担がかかります。毎日の授業を大切にしてください。詳しくは、先輩たちから直接アドバイスをしてもらうのもいいのではないのでしょうか。

問 志望校への合格が微妙なとき、ランクを落としてでも現役で他の大学へ入学した方がよいのか、浪人して志望校を目指した方がよいのか。これまで、天高生はどちらを選んでいるのでしょうか。

答 志望校の選定は、大学の学部・学科でどのようなことが学べるのかの情報を各自入手し、本命1校、実力相応校3校ほどを考えてもらいます。現役合格にこだわること、もう1年頑張るか

は本人次第です。将来を考慮した場合、浪人の選択肢はあるでしょう。また、予備校で1年間勉強する場合、年間200万円ほどの経済的な負担があります。何が何でも志望校に行きたいという強い意志は必要です。最善は、現役合格。1・2年生からの早い段階での志望校決定や取組みが合格への近道です。

問 より偏差値の高い大学を目指すことが一般的ですが、偏差値の高い大学がレベルの高い勉強ができ、就職先も違うのでしょうか。

答 一部に偏差値重視や学歴主義はあるでしょう。各大学の研究意欲や実績が高いほど大学への補助金も多く、先進的な研究ができることは間違いありません。大卒生の就職活動は、エントリーシート

の提出から始まり、筆記試験や人事担当者面接、役員面接等の数回のハードルがあります。この大学だから就職に有利ということは基本的にはないと思います。国公立・私立にかかわらず、大学でいかに意欲的に活動し、自分の研究や体験を場々と自信をもって語ることができるか、要は、その人の人間力が評価されることになり

ます。企業が求める人材（資質、資格、技術等）に近づいておくほど有利なのは当然ですから、高いレベルで学んだ人材が有利になる、そうあって欲しいと常々考えています。高校生活でいうと、日々の予習・授業・復習を徹底した。朝課外も遅刻なく出席した。部活動も休まず意欲的に頑張った。挨拶もいい。掃除も熱心に取り組む。これらの事は高校生にとつて普通のことですが、この力を十分に身に着けてきたからこそ、レベルの高い大学に入る可能性が高くなる。これは自然なことだ

と思います。それらに取り組む姿勢が、勉強に取り組み心構え、丁寧さ、徹底度に大きく関係してきます。本当に自分が行きたいところに入學する、やりたい仕事に就くために、自ら努力し、苦勞も覚悟して、階段を確実に昇ってほしいと思います。

問 天草高校から推薦できる大学とその人数を教えてください。

答 天草高校に来ている指定校推薦は、私立大学のみです。進路室で常時閲覧できるようになっています。これまでの実績校の一部は、次のとおりです。

早稲田、日大、中央、青山学院、安田女子、近畿、中村学園、福大、西南学院、九州ルーテル学院、崇城、尚綱、など。

学部は文系が主で、募集人数は1人のところが多いです。来年も指定校推薦をもらえるかは不確定、入学した大学で天高卒業生の頑張りが評価され枠が広がることも、その逆もあります。最終的に該当大学への入学者がいない場合は打ち切られることもあり、大学と天草高校の信頼関係で成り立っています。

国公立大学の推薦は、AO入試、自己推薦入試、センター試験を課さない推薦I、センター試験を課す推薦IIなどがあります。それぞれ推薦条件（評定平均値、欠席日数、検定資格など）が違いため大学のホームページなどで詳細を確認する必要があります。

問 将来の目標がまだ定まらず大学に入ってから目標を見つけた人は、自分に合った大学選び学部選びは重要だと思います。そのような生徒をどのように導いておられるか教えてください。

答 将来のことについては総合的な学習の時間を活用して「自分調べ」、「大学調べ」、「業種調べ」の3つの柱で考えてもらいます。自分の個性や特徴、特技などから絞り込みます。最終的にはどこを受験することになりますので、具体的な大学名・学部・学科の選定が必要になります。

大学等に進学し、さらに絞り込んだり、進路変更もありますが、いずれにしても自分の意思を明確にすることが大切です。自分の意思がわかっていないが、大学をどう選んでいいかわからない。今の成績で、どの程度の大学を目指せばいいのかわからない。参考になるものがあれば教えてください。

答 進むべき学部や学科がわかっていれば、複数の大学を比較することがとても大事なことです。その学部がある大学のホームページから申し込みパンフレットを入手してください。ホームページでさらに詳しく研究内容や論文、実績等の情報を入手できます。オープンキャンパスへの参加も有効です。大学によつては、公開講座やワー



育友会総会時または生徒を通じ配布

クシヨップを実施していますので、これに参加することもいいと思います。

クシヨップを実施していますので、これに参加することもいいと思います。

問 なりたい職業は、理系の大学に行かないとなれないようですが、数学や理科が苦手な様です。あきらめて文系に進んだほうがいいのでしょうか。

答 なりたい職業があることは、非常に良いことです。次にやるべきことは、その職業になるための学習への取組みや学力をつけることです。苦手科目は誰にでもあります。頑張つて、頑張ってこそ本当の力となって身に付きま

す。当然、時間もかかります。苦勞も伴います。本気で取り組むかどうかです。まずは、目標を変えて貰い通して下さい。

問 天高は、3月までみんなで勉強する。というところで取り組んでおられますが、短期大学や、専門学校を受験する人もセンター試験を受けるのでしょうか。

答 今年も短期大学や専門学校合格者の数名がセンター試験を受験しました。強制はしていません。推薦等により四年制大学に合格した生徒は、極力受験させています。それでも受験した生徒たちにとって、必死に大学進学にむかう生徒たちと同じ土俵に立ち受験したことは、恐らくプラスに働くことはあってもマイナスになることはないと考えています。

合格して勉強を止めることはあり得ることです。天草高校が3年間をおとして育てたい人材は社会で意欲場々と活動し、社会貢献する人材です。合格後も、可能な限り学習を続けたい経験者が大学入学後も活かされ、大学で活躍している卒業生の話もよく聞きます。

より高い目標を実現するために、意味ある、付加価値の高い要素を盛り込む基礎づくりのために今できることは、学ぶことを継続することです。決して勉強だけすればいいという意味ではありません。

総合的な力が大事です。天高の進路指導においては、受験に取り組む姿勢が、大学での学び、就職後の仕事に取り組む姿勢に直結するものと確信し、可能な限り「学ぶ姿勢」を継続させようと考えています。受験も大事ですが、その先にこそ、大きな目標があるはず

です。また、天草の地理的環境から考えると、自宅を出て一人暮らしや慣れない環境での生活をしていくことになり、学校や保護者の皆さまが今できることは、いろいろな経験から、自分の殻を破り、成功も失敗も結果として受け入れ、それを乗り越えるにはどうしたらいいか考えさせることだと思います。

「くまもと家庭教育推進フォーラム in たまな」

日時 平成29年1月29日(日) 13:00~15:00
場所 玉名市民会館大ホール

「熊本の心」県民大会

復旧・復興に向けてくまもと熊本の心をつなぐ家庭の絆・ふるさと熊本の絆づくりに向けて



健全育成委員長
坂本 満也

「熊本の心」県民大会」とくまもと家庭教育推進フォーラム」に、津田会長と私の2人で参加しました。

くまもと家庭教育推進フォーラムで発表された取組みなどを報告します。

家庭教育支援の取組紹介では、玉名市立天草中学校が「SNSにおける問題点を解決し、仲間との絆を守るために、天水中のルールを作ろう!」と題し、SNSでは本気の気持ちで伝わり難い、流した情報が消せないなどの問題提起から、SNSをどう使っていくかクラス会議で意見を出し合いルールを決めた事例を紹介。問題にどう立ち向かうべきか等について説明されました。



次に、玉名市立伊倉小学校PTA家庭教育部が「親の学びを中心とした取り組み」の事例を発表。子どもたちが健やかに成長していくためには、親と子、親と親、親と地域、親と学校のつながりが大切で、これを深めるための取組事例や家庭での教育をしっかりとつづけるためには保護者の繋がりが重要であること等が話されました。

最後に、ロアッソ熊本の巻誠一郎選手のトークライブがあり、1日24時間の生活プランを自分で立てる「セルフプロデュース」の重要性等の話を聞くことができました。

同窓会の紹介

題字：松本直子（2年5組）

同窓会は、卒業生が会員となり親睦と融和を深め、母校の発展に寄与することを目的に活動がされています。

天高の同窓会の特徴の1つは各地に組織があることです。本部は「関南会」。関東に「関東東あまか会」、中京に「中京支部」、関西には「関西支部」、九州には「福岡支部」、「熊本支部」、「八代支部」があり、本部と連携調整して、独自の活動が行われています。

主な活動は、同窓生の親睦を図るほか、天草高校発展のための教育振興基金事業やマラソン大会の賞品、卒業証書入れの筒など学校の各種事業への補助をいただいています。また、創立百周年記念として関南会館（現学習センター）の新築、創立百周年で天高正門の新設、創立百二十周年では中庭「集いの広場」（石玉回転噴水）の整備など現役天高生のための施設を整備していただいています。

同窓会事務局からお願い

天高卒業後、大学等に在学中は帰省先に会報を送付します。大学等の卒業などで住所が変更になった場合は事務局までご連絡をお願いします。

TEL(0969) 24-13533
(開館日：毎週火曜日 9:30~16:30)

編集後記

2月5日に予定されていたマラソン大会がインフルエンザの大流行で中止になりました。例年「育鵬」の半面以上を飾る記事が無くなり大慌て。急遽「進路」の特集を組むことになり、ご協力いただいた佐藤さん野口先生、文化広報委員の皆さんに感謝します。

文化広報委員長 宮本 諭

祝・天草高校創立120周年
天草高校吹奏楽部
第30回定期演奏会
平成29(2017)年 3月19日(日)
会場：天草市民センター ホール
入場無料

「あんない」
3月19日(日)
14時開演(13時30分開場)
天草市民センターホール
コンクール課題曲やヒットメドレーなども演奏します。
天高吹奏楽部の音楽をぜひ聞きにきてください。